

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 3 月 18 日(木)	開催時刻	15 時 00 分から 18 時 00 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 21 年度第 12 回)		
出席者	小林会長、白石副会長、浅井委員、安藤委員、池田委員、一之瀬委員、岡田委員、荻原委員、栗田委員、佐藤委員、塩入委員、田口委員、竹田委員、中村委員、森田委員、安井委員 (欠席委員) 飯島委員、栗俣委員、宮本委員、山極委員 (事務局) 浅野まちづくり協働課地域振興政策幹、 小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第	<p>1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>2 年間皆さまには、委員としてお力添えを頂き、ご活動いただきありがとうございます。第 2 期の中央地域協議会は本日で最後になる。2 月 2 日には 2 つの提言書を市長に提出することが出来た。実地の調査・研究・協議を重ね、中身のある提案書が完成したと思う。</p> <p>本日はわがまち魅力アップ応援事業の審査を行う。各団体とも地域の活性化に思いを馳せながらここに望んでいる。皆様方も慎重にご審議頂き、公平・公正な立場で最終審査に望んで頂きたいと思う。ご協力よろしくお願いしたい。</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) わがまち魅力アップ応援事業選考審査</p> <p>ア 日程等説明(事務局から)</p> <p>イ 申請者プレゼンテーション</p> <p>〔特色あるまちづくり応援事業〕</p> <p>提案事業 1 「上沢獅子神楽と共に、むらの歴史資源を学び紹介する、 上沢魅力アップ事業」</p> <p>事業概要</p> <p>【事業の目的】</p> <p>上沢は、信濃国分寺創建住時の門前集落であり、国分僧寺守護神・国分八幡宮に「上</p>		

沢獅子」を奉納し、国分寺村界隈の安寧を祈願して来た歴史を持ち、北陸・江戸を結ぶ北国街道と千曲川に沿い、人々の往還でにぎわった土地柄であった。これらの歴史や伝統芸能の獅子保存継承活動と、むら中の社や石造物の在りかを書き残し、「まつり」や「むら巡り」行事などを市民の皆さんに紹介し、学習とPRを行い、上沢の魅力アップと住民の絆を深め地域力の向上に役立てる。

【事業の効果】

文政時代からの「上沢獅子神楽」が、後継者たちに引き継がれ、正月・春・夏ごとの「自治会まつり」の主イベントとなり、地域の絆を深める文化活動と進化し、子供達や住民の心に定着し継承される。上沢の歴史と共に、これらの伝承文化が上沢の地で、未永く継承される礎を残したい。

【事業費等】

総事業費 841,750 円 うち補助希望額 811,750 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：子どもたちに継承するために、どのような事業を考えているのか。

事業者申請者：まつりに一緒に参加することにより、交流の中でよさを知ってもらう。

子ども達も獅子に触り、太鼓をたたき、一緒に歌を歌い、思い出作りになると思う。

会長：上沢獅子の冊子の配布先はどのような範囲になるのか。

事業者申請者：自治会が 300 世帯になり、関連する支所や神川地域の自治会や教育委員会の方に相談して配布したい。

委員：今回は上沢獅子のあゆみの冊子を出すために申請されたようだが、パンフレットに係る費用と、イベント費も組み込まれているようだ。

事業費申請者：獅子のあゆみをビデオや文字にして、それを後継者に継承して伝えてきた。今年度は活動の内容を知っていただき、PRしていきたい。冊子に残すことにより上沢を広く皆さんに伝えたい。

委員：続編と増刷と2つ見積もりが出ているがこれは何か。

事業者申請者：前回作成した「上沢獅子のあゆみ」は、予算がなく少ない部数しか作れなかった。今回増刷して、欲しい方にお分けしたい。また、新たに冊子を作り、広く自治会の方々や他の方々にも活動をPRしたい。

提案事業2「上田地域を活性化するために常田館（仮称）の有効利用を検討」

事業概要

【事業の目的】

上田地域を活性化するために、常田館の有効利用という具体的な課題から検討する場を作りたい。多様な専門性・経験を持つ人材（複数の大学と市民の参加）によって具体的に将来を構想し、上田地域の活性化策とこれを担う人材を育成する社会的な場を作りたい。

【事業の効果】

我々は、大学の知を活用して新しい産業・観光のあり方を考え、新たな視点から地域の歴史等の地域資源を活用する方法を考えていくことが出来る。

【事業費等】

総事業費 959,750 円 うち補助希望額 949,750 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：特定の大学の学生から出発している。大学生のなかで事業を始めてから、市民に広めていくのならばいいと思ったが、特定の学生に限られているように感じた。

事業者申請者：2月にまず学生だけで行った。次の発表会は、皆さんにも一緒に聞いていただき、学生が作ったものをご指摘いただけるといいと思う。市民の方にも入っていただき、広く活動できたらと考えている。

委員：大学のゼミの学生向けに出来た計画のように感じた。講師の先生の謝金と交通費だけで、797,000円の支出になる。これは大学の中で行い、市民にPRするものを考えたほうが、段階的な筋道ではないかと思う。

事業者申請者：ワークショップを実施し、市民の方々といっしょに考えたい。その起爆剤として講師を呼びたい。

委員：講師にお金をかける前に、やるべきことがあるのではないか。地元にも講師はいると思う。常田館の利用提案に区切られてしまうと、地域全体の提案としては範囲が狭く、厳しいと思う。

事業者申請者：常田館に限定した理由は、具体的な話のほうがいいと思ったからだ。

委員：ゼミに関わった生徒さんだけのものだと、無理があると思う。継続性を考えると心配だ。大学の中で常田館を研究され、上田の活性化を考えていただくのはありがたいが、学生の研究と地域とのつながりが必要だと思う。

提案事業 3 「先人の偉業をたどる街中イベント事業

(中心市街地活性化の賑わい創出に向けて)

事業概要

【事業の目的】

大型店の郊外出店により、まちなかの消費の空洞化はもとより、地域を支える歴史文化発祥の中心市街地は、その存続意義すら薄れてきている。このことをまち全体の危機と捉えるなら、今一度先人の方々に築いて頂いた上田の基礎を、多くの市民との協働により再認識していくことは、非常に価値がある。すでに中央地域協議会より提案のある先人館の構想を、自ら実施に移すべく活動していきたい。

【事業の効果】

単なるイベント事業ではなく、この事業は中心市街地で行われる生涯学習として定着させ、先人の偉業を今一度多くの市民と共有し、その中からこの上田の地を支えて

きたものが何であるかを浮き彫りにすることで、中心市街地の賑わい復活の試金石になると考える。

【事業費等】

総事業費 444,000 円 うち補助希望額 444,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：空き店舗を利用し、中央公民館の視聴講座を行うというのはいいアイデアと思う。勉強会には講師を招いて行うのか。講演会も開催するようだが。

事業申請者：講演会は 200 人から 300 人の間で行う予定だ。講演会の後に講習会か勉強会を企画し、話しをしていただく。その中から次につなげる構想も出てくる。

委員：講師は中央公民館にお願いするのか。

事業申請者：中央公民館の出張講座の形で、考えている。

委員：先人館構想を推進する会という団体だが、いつでも展示が見られ勉強できるのか。

事業申請者：その期間だけでなく、商店街の中にもイベントがあるので利用できる。公民館活動などの講座にも、展示品を貸し出すことも出来る。

委員：空き店舗の利用という話があるが、中央商店街全体の話なのか。

事業申請者：出来るだけ広げていくのが理想だ。商店街に関しては特に関係ない。

委員：先人館構想を推進するという話だが、中央公民館の館内にも展示をされるなど、一緒に巻き込んで活動する方向で、進めるのはどうか。

提案事業 4 「太郎山丁石復元事業」

事業概要

【事業の目的】

上田市民の山、また多くの登山愛好家から昔から親しまれている太郎山である。道普請・下草刈りの管理は地元有志の努力で維持されているが、明治来の歴史を語る遺産「丁石」については昭和元年に修復されるも現存 5 基が原型を留めておらず、7 基は所在がない。現存するのは 11 基で今後も荒廃の恐れがあり、歴史に基づいた復元作業と荒廃を防止する手立てが必要である。完了後はこれら丁石をイベント時にライトアップし、太郎山を通してさらに多くの人々の健康づくり、人的交流、観光地としての PR、また史跡の保存・地域美化などに貢献するものである。

本事業を進めるにあたり、「太郎山保存会」「太郎山を楽しむ会」との連携を密にとり、地域一体となって事業が進むように努めたい。

【事業の効果】

歴史に基づき、太郎山の緑色凝灰岩を切出して復元し、事業を通じて地域の美化も底上げとなるよう活動したい。

【事業費等】

総事業費 4,295,174 円 うち補助希望額 1,000,000 円

主な質疑・事業申請者からの回答

委員：太郎山は上田市民だけの物ではなく、他県からも大勢みえている。登山者は、丁石があることでそれぞれの目標になる。心配なことは事業費が高額なことで、最後まで事業を進めることが出来るのか。また、丁石を作るのであれば、上り口に標識を作っていたらと思う。

事業申請者：予算だが、最初は補助金を考えずに行う予定だった。石がいたずらされた事実があり、皆さんに周知の上行ったほうが、そのようなことがなくなるのではないかと思い、申請した。寄付金が足りない場合、我々で完成させるつもりだ。今後の計画としては、今年は丁石の復元を行い、来年は看板の作成など、今後の活動の中から先がみえてくると思う。

委員：現存している丁石もすべて新しくするのか。

事業申請者：そうではなく、修理の必要なものと所在のないものについては補修する。

委員：いたずらされる対策については考えているのか。

事業申請者：具体的な策としては、3つの部位で出来ているものを接着剤で合体させる。1基が60キログラム以上の重さになるので、簡単には動かすことが出来ない。

委員：丁石の中にライトを埋め込むのか。

事業申請者：ソーラーによる蓄電の方法を考えているので、1本はLEDライトを丁石の火袋の中に灯して、上からも丁石全体を照らすようにする。

委員：来年度以降の事業の取組の中に、地域の歴史をまとめた史跡マップを作成し、各種イベントで活用するとあるが、具体的にはどのように行うのか。

事業申請者：「太郎山保存会」や「太郎山を楽しむ会」の団体の方たちにお話を伺い、まとめていきたい。

委員：「太郎山保存会」と「太郎山を楽しむ会」とは具体的にどのような関係で進めているのか。また、資金面では寄付金を200万円集めるようになっているが、具体的にどのような形で行うのか。

事業申請者：残っている資料がないので、保存会と楽しむ会の方々に知識を教えてください。寄付金の内容だが、実際に1~2月から活動を始めている。郵貯銀行で、太郎山丁石復元事業募金という募金専用講座を開設した。寄付金のPRの方法は、太郎山の頂上にパンフレットを張り、募金専用の振込み用紙の入った封筒を設置してお願いしている。

事務局：印刷製本費と通信費の中に、募金のチラシの作成とポスターの作成、ダイレクトメールの発送費が計上されているが、これについては寄付金を得るために必要な経費になるのか。

事業申請者：今後、魅力アップ応援事業に認定されてからは、その方法を考えている。

委員：申請者の会員が法人になっている。法人の会員の申請はいいのか。

事務局：魅力アップ応援事業について、NPO法人が応募できるかどうかについては可能だ。しかし、企業がNPO法人の組織の中に入っている場合に、各企業の営利事業とNPO法人としての事業の関係についてどうなのか。各企業の営利活動の補助になっては困る。

事業申請者：各企業から月々の会費をいただき、それを資金源として活動している。

事務局：NPOの事業と各企業の事業はまったく違うものか。

事業申請者：組織が産業廃棄物のリサイクルを中心とした企業になっている。普段の活動においては、ゴミ拾い、ゴミの減少、再生、リサイクル、不法投棄の監視を仕事として行っている。今回はそれとは別に、太郎山丁石復元事業実行委員会を組織内に作り、活動している。

ウ 委員審査調書作成、提出（各委員）

(2) 選考審査

エ 調書集計等報告（事務局）

オ 選考協議【採択・不採択・条件付採択事業の決定】（委員）

〔特色あるまちづくり応援事業〕

協議内容は非開示

決定事業

提案事業1,3,4については、条件付採択とし、附帯意見をつけて市長へ意見書を提出することとする。

提案事業2については、不採決とする。

(3) その他

4 連絡事項等

・次回協議会

平成22年度 委員委嘱式 終了後 第1回協議会

4月15日（木）13時30分～ 上田文化会館

閉 会